

## 2019年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2018年8月3日

上場会社名 蛇の目マシン工業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6445 URL <https://www.janome.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大場 道夫  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 小林 裕幸 (TEL) 042-661-3071  
 四半期報告書提出予定日 2018年8月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年3月期第1四半期の連結業績(2018年4月1日~2018年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第1四半期	9,600	1.2	133	△61.1	321	△27.7	169	△50.4
2018年3月期第1四半期	9,485	△0.2	343	△32.8	444	△4.1	341	49.3

(注) 包括利益 2019年3月期第1四半期 150百万円( △68.6%) 2018年3月期第1四半期 480百万円( —%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第1四半期	8.77	—
2018年3月期第1四半期	17.66	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第1四半期	51,097	25,098	47.5
2018年3月期	51,009	25,172	47.7

(参考) 自己資本 2019年3月期第1四半期 24,280百万円 2018年3月期 24,310百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2019年3月期	—	—	—	—	—
2019年3月期(予想)	—	0.00	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日~2019年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	20,000	△1.3	1,000	7.1	950	△13.9	650	△11.3	33.62
通期	42,000	3.0	2,500	20.4	2,400	13.7	1,600	15.0	82.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2019年3月期1Q	19,521,444株	2018年3月期	19,521,444株
2019年3月期1Q	189,819株	2018年3月期	189,819株
2019年3月期1Q	19,331,625株	2018年3月期1Q	19,331,723株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10
3. 補足情報	12
(1) 所在地別セグメント情報	12
(2) 海外売上高	13

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の世界経済は、やや鈍化が見えるものの、引き続き堅調に推移いたしました。一方、米国が各国との間で引き起こした通商摩擦やイラン核合意離脱表明への懸念等、依然として不安要因は払拭されておられません。

わが国経済におきましては、景気は回復基調で推移し、中でも、迫られる人手不足を契機とした自動化設備の導入などの省人化への動きが、設備投資動向を底堅いものにしております。

このような中、当社グループにおきましては、新製品の投入や各種展示会への出展等を通じて市場の掘り起こしを行うとともに、徹底したコスト削減に努めました。

その結果、当第1四半期の総売上高は9,600百万円（前年同期比114百万円増）となったものの、海外生産拠点における現地通貨高の影響等を受けたことにより、営業利益は133百万円（前年同期比209百万円減）、経常利益は321百万円（前年同期比122百万円減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は169百万円（前年同期比171百万円減）となりました。

セグメント別の概要は、次のとおりであります。

なお、セグメント情報に記載の通り、報告セグメントを変更しており、当第1四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいて記載しております。

#### <家庭用機器事業>

家庭用機器事業におきましては、新製品の投入やソーイング教室の開催、国内外の各地で行われた展示会への出展等を通じ、需要の喚起に努めました。その結果、低価格帯製品を中心とした中南米、アジア市場向け販売は確かな足取りを示しており、ロシアを含めた新興国向け販売は堅調に推移いたしました。一方、重要市場と位置付けている北米市場の回復は力強さを欠き、欧州市場では引き続き苦戦が続くなど、依然として厳しい状況が続きました。

その結果、海外・国内ミシンの販売台数は37万6千台（前年同期比4千台増）、家庭用機器事業全体の売上高は6,973百万円（前年同期比13百万円増）となったものの、営業利益は33百万円（前年同期比200百万円減）となりました。

#### <産業機器事業>

産業機器事業におきましては、市場参入企業が増加し、価格競争が激化しつつある中、卓上ロボットは、ラインアップの充実を図り、国内外で使い易く導入コストを抑えた製品の拡販に努めました。また、エレクトロプレスは、地道な営業活動を継続したことで製品の市場評価が高まり、自動車部品関連企業向け販売を中心に好調に推移いたしました。ダイカスト鑄造関連は、顧客ニーズへの迅速な対応などにより、高い評価を受けているものの、前期における好調な業績の反動もあり、やや厳しいスタートとなりました。

その結果、産業機器事業全体の売上高は1,844百万円（前年同期比29百万円増）、営業利益は81百万円（前年同期比7百万円増）となりました。

#### <IT関連事業>

IT関連事業におきましては、IT技術を中心とした情報サービス産業の拡大を背景に、品質の向上に重点を置いた営業展開を推し進め、主力のソフト開発事業を中心に既存顧客との取引拡大や新規顧客の獲得に注力いたしました。

その結果、売上高は605百万円（前年同期比75百万円増）となったものの、株式会社ジャノメクレディアの本社移転に伴う費用の計上等により、営業利益は25百万円（前年同期比11百万円減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期末の総資産は51,097百万円（前連結会計年度末比87百万円増）となりました。

資産の部では、流動資産が現金及び預金の増加等により23,050百万円（前連結会計年度末比134百万円増）となりました。固定資産は減価償却による減少等により28,046百万円（前連結会計年度末比47百万円減）となりました。

負債の部は、流動負債が支払手形及び買掛金の増加等により17,359百万円（前連結会計年度末比199百万円増）となり、固定負債は退職給付に係る負債の減少等により8,639百万円（前連結会計年度末比37百万円減）となりました。

純資産の部は、為替換算調整勘定の減少等により25,098百万円（前連結会計年度末比74百万円減）となりました。

[キャッシュ・フローの状況]

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末から197百万円増加し、6,316百万円（前年同期比505百万円増）となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益341百万円、減価償却費343百万円、売上債権の減少218百万円などにより、939百万円の資金の増加（前年同期は745百万円の資金の増加）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、機械・金型等の有形固定資産取得による支出270百万円などにより、351百万円の資金の減少（前年同期は35百万円の資金の減少）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の減少133百万円などにより、353百万円の資金の減少（前年同期は1,527百万円の資金の減少）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2018年5月11日に公表しました2019年3月期の連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,293	6,535
受取手形及び売掛金	7,368	7,151
有価証券	341	334
商品及び製品	4,984	4,916
仕掛品	668	716
原材料及び貯蔵品	2,856	2,898
その他	629	729
貸倒引当金	△227	△231
流動資産合計	22,916	23,050
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,100	6,042
土地	14,471	14,460
その他（純額）	2,357	2,444
有形固定資産合計	22,929	22,948
無形固定資産		
その他	1,108	1,077
無形固定資産合計	1,108	1,077
投資その他の資産	4,055	4,020
固定資産合計	28,093	28,046
資産合計	51,009	51,097

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,007	3,192
短期借入金	10,980	10,824
未払法人税等	293	157
賞与引当金	520	260
その他	2,358	2,924
流動負債合計	17,159	17,359
固定負債		
再評価に係る繰延税金負債	3,433	3,433
退職給付に係る負債	4,485	4,461
その他	757	744
固定負債合計	8,677	8,639
負債合計	25,836	25,998
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	11,372	11,372
利益剰余金	7,116	7,093
自己株式	△325	△325
株主資本合計	18,164	18,140
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	171	202
土地再評価差額金	6,660	6,660
為替換算調整勘定	△301	△380
退職給付に係る調整累計額	△384	△342
その他の包括利益累計額合計	6,145	6,140
非支配株主持分	862	817
純資産合計	25,172	25,098
負債純資産合計	51,009	51,097

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)
売上高	9,485	9,600
売上原価	5,614	5,963
売上総利益	3,871	3,636
販売費及び一般管理費	3,527	3,502
営業利益	343	133
営業外収益		
受取利息	7	6
受取配当金	39	35
為替差益	65	117
その他	25	56
営業外収益合計	136	216
営業外費用		
支払利息	26	20
その他	9	8
営業外費用合計	35	28
経常利益	444	321
特別利益		
固定資産売却益	13	24
特別利益合計	13	24
特別損失		
固定資産除売却損	10	3
特別損失合計	10	3
税金等調整前四半期純利益	446	341
法人税、住民税及び事業税	74	117
法人税等調整額	25	49
法人税等合計	99	167
四半期純利益	346	174
非支配株主に帰属する四半期純利益	5	4
親会社株主に帰属する四半期純利益	341	169



四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)
四半期純利益	346	174
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	18	31
為替換算調整勘定	78	△96
退職給付に係る調整額	36	41
その他の包括利益合計	133	△23
四半期包括利益	480	150
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	464	163
非支配株主に係る四半期包括利益	15	△12

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	446	341
減価償却費	338	343
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△61	△21
受取利息及び受取配当金	△46	△42
支払利息	26	20
売上債権の増減額(△は増加)	30	218
たな卸資産の増減額(△は増加)	△228	△16
仕入債務の増減額(△は減少)	324	153
その他	95	134
小計	926	1,131
利息及び配当金の受取額	34	37
利息の支払額	△23	△20
法人税等の支払額	△191	△209
営業活動によるキャッシュ・フロー	745	939
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△0	△97
定期預金の払戻による収入	42	31
有形固定資産の取得による支出	△103	△270
有形固定資産の売却による収入	68	44
無形固定資産の取得による支出	△30	△55
その他	△11	△4
投資活動によるキャッシュ・フロー	△35	△351
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△1,322	△133
配当金の支払額	△149	△157
その他	△56	△62
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,527	△353
現金及び現金同等物に係る換算差額	△34	△36
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△852	197
現金及び現金同等物の期首残高	6,663	6,118
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,811	6,316

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	家庭用機器	産業機器	I T 関連	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,959	1,814	529	9,304	181	9,485
セグメント間の内部売上高 又は振替高	7	177	101	286	99	385
計	6,967	1,991	630	9,590	280	9,871
セグメント利益	234	74	36	345	△11	333

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	345
「その他」の区分の損失	△11
セグメント間取引消去	9
四半期連結損益計算書の営業利益	343

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	家庭用機器	産業機器	I T 関連	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,973	1,844	605	9,423	176	9,600
セグメント間の内部売上高 又は振替高	8	197	107	313	89	403
計	6,982	2,041	712	9,737	266	10,003
セグメント利益	33	81	25	140	△16	124

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	140
「その他」の区分の損失	△16
セグメント間取引消去	9
四半期連結損益計算書の営業利益	133

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、従来「その他」に含まれていた「I T 関連事業」について重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

また、報告セグメントごとの業績をより適切に反映させるため、当社の共通費の配賦基準を見直し、事業セグメントの利益又は損失の算定方法の変更を行っております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については変更後の区分により作成したものを記載しております。

### 3. 補足情報

#### (1) 所在地別セグメント情報

前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	東南ア ジ ア (百万円)	その他 の 地 域 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	6,528	1,254	128	1,575	9,485	—	9,485
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	1,205	—	3,463	0	4,668	(4,668)	—
計	7,733	1,254	3,591	1,575	14,154	(4,668)	9,485
営業利益	85	△35	64	28	141	201	343

(注) 国又は地域の区分の方法及び各区分に属する主な国又は地域

(1) 国又は地域の区分の方法……地理的近接度によっております。

(2) 各区分に属する主な国又は地域

① 北米……米国、カナダ

② 東南アジア……台湾、タイ

③ その他の地域……イギリス、オランダ、スイス、オーストラリア、ニュージーランド、チリ、ブラジル

当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	東南ア ジ ア (百万円)	その他 の 地 域 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	6,328	1,446	152	1,671	9,600	—	9,600
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	1,933	—	3,694	0	5,627	(5,627)	—
計	8,262	1,446	3,847	1,671	15,228	(5,627)	9,600
営業利益	132	38	△39	41	172	(38)	133

(注) 国又は地域の区分の方法及び各区分に属する主な国又は地域

(1) 国又は地域の区分の方法……地理的近接度によっております。

(2) 各区分に属する主な国又は地域

① 北米……米国、カナダ

② 東南アジア……台湾、タイ

③ その他の地域……イギリス、オランダ、スイス、オーストラリア、ニュージーランド、チリ、ブラジル

(2) 海外売上高

前第1四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)

	北米	欧州	その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	1,326	2,330	2,508	6,165
II 連結売上高(百万円)				9,485
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	14.0	24.6	26.4	65.0

当第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

	北米	欧州	その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	1,501	2,391	2,503	6,396
II 連結売上高(百万円)				9,600
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	15.6	24.9	26.1	66.6

(注) 1 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

2 国又は地域の区分の方法及び各区分に属する主な国又は地域

(1) 国又は地域の区分の方法……地理的近接度によっております。

(2) 各区分に属する主な国又は地域

① 北米……米国、カナダ

② 欧州……イギリス、オランダ、ドイツ、スイス、ロシア

③ その他の地域…東南アジア、豪州、中東、アフリカ、中南米